

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和5年5月30日

作成者：橋野 浩美

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

| | |
|--|----------------------------|
| 団体名 | |
| 特定非営利活動法人あしやNPOセンター | |
| 事業名 | 日時(期間)、場所 |
| 災害時対応セミナー | 令和4年7月16日10時～15時 リードあしや |
| 内容(実績) *実施したことを具体的に | 受益者数 |
| 10時～12時 災害協力シミュレーションゲームダイレクトロード 実施(神戸消防局提供) | (34) 人 |
| 12時～13時 昼休憩(防災食試食(MT-NET(株)協力) 意見提出及びアンケート(ゲームの感想、災害後の出来る事やすべき事など) | 参加者数 |
| 13時～15時 意見交換津久井先生の進行で災害時ケースマネジメントをふまえて分析解決していく。 | (34) 人 |
| 成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に | |
| 高校生から一般の方、多世代がそれぞれの立場と考え方を知る事ができ、互いに支え合えることを「災害」体験を通じて理解しあえた。また、「モノ」「ヒト」「コト」など日常のつながりが大切であり、情報の共有、協力し合うこと、助け合うことが大切だとだと確信した1日であったと参加者から声があがった。 | |
| 今後の展望(どのように継続、発展するか) | |
| 災害時という特殊な状況をケースに多世代の市民が集まり、考えられる場を展開し、日常に生かす講座として継続していく。 講座の内容としては、体験者や専門家から聞く場と、状況を体験し対応できるノウハウを得ることができるワークショップを合わせて開催していく。 災害時対応セミナー運営グループに発展することを望んでいる。 | |